



百舌鳥エリア築造当時復元図



古市エリア築造当時復元図

# 古墳とは

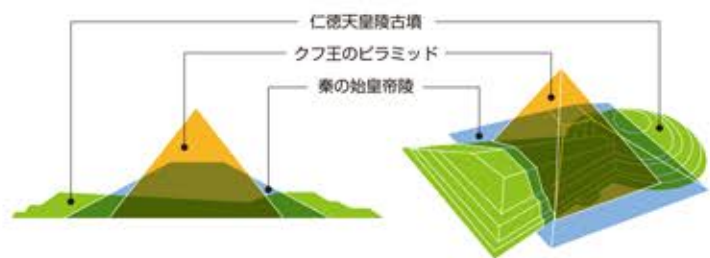
3世紀後半から6世紀後半の間、日本列島で盛んに造られた土を高く盛り上げた墳丘をもつ墓を「古墳」と言います。

古墳には当時の身分の高い人が葬られていました。

墳丘は、周りの土を掘って積み上げて造られ、その斜面に石が敷き詰められました。掘られた部分は周りより低い濠になりました。

古墳の形は、上からみると鍵穴の形をした前方後円墳、帆立貝のような帆立貝形墳、ドーム型の円墳や四角形の方墳などバラエティーに富み、大きさも10m程の小さいものから、400mを超える巨大なものまで様々です。

古墳が盛んに造られたこの時代は「古墳時代」と呼ばれ、ここから日本列島で古代王権が形成されていきました。



	仁徳天皇陵古墳	クフ王のピラミッド	秦の始皇帝陵
全長	約486m	約230m	約350m
高さ	約35.8m	約146m	約76m
体積	約140万㎡	約260万㎡	約300万㎡

**Q1** 前方後円墳ってなに？

**A1** 円と四角を連結させた、上からみると鍵穴のように見える形の古墳です。代表的なものには、日本最大の面積をもつ仁徳天皇陵古墳や、日本最大の体積をもつ応神天皇陵古墳があります。巨大古墳のほとんどが前方後円墳で、古墳時代の初めから終わり近くまで造られ続けました。ヤマト王権の王をはじめ、有力者がこの形の古墳を造っていました。日本独自の形で、この形の意味については、様々な説があります。

**Q2** 古墳の中には何が入っているの？

**A2** 古墳には死者が葬られています。棺に納められた遺体の他にも死者の身の回りの品が納められています。よろいかぶとや馬具、鏡など、死者の身分や職業、時代によってさまざまな副葬品があります。中にはとても貴重なものや海外からの渡来品もあります。



養田丸山古墳出土鉄金具(国宝・養田八幡宮所蔵)

**Q3** 古墳を造るのに、どれだけの労力がかかったの？

**A3** 仁徳天皇陵古墳で試算すると、現代の工法で様々な機械を使ったとしても、1日60人働いて2年半ほどかかります。ましてや機械の全くない昔の工法では、延べ約680万人分の労働力が必要になり、1日最大で2,000人が働いても15年8ヶ月かかるそうです。これは古墳を造るだけの労力で、これにさらに埴輪の製作作業等が加わります。(1985年大林組プロジェクトチーム「季刊大林」20号)

# 世界遺産とは

人類が協力して守り引き継いでいくべき共有の遺産が世界遺産です。昭和47(1972)年のユネスコ総会で「世界の文化遺産及び自然遺産の保護に関する条約(世界遺産条約)」が採択されました。この条約は、地球上の貴重な遺産を、損傷や破壊の脅威から守り、次世代へ保存・継承するための国際協力や援助を目的としています。世界遺産には、記念工作物、建造物、遺跡などの文化遺産、動植物の自生地や自然景観などの自然遺産、それらの両方を有する複合遺産があります。

誰もが素晴らしいと思える「顕著な普遍的価値」を備えると認められた遺産のみが世界遺産リストに記載され、平成29(2017)年7月現在で1,073件の世界遺産があります。

## 日本の世界遺産

文化遺産 17件、自然遺産 4件



1. 知床(自然)
2. 白神山(自然)
3. 平泉—弘法(浄土)を表す建築・庭園及び考古学的遺産群—(文化)
4. 日光の社寺(文化)
5. 富岡製糸場と絹産業遺産群(文化)
6. ル・コルビュジエの建築作品—近代建築運動への顕著な貢献—(文化)
7. 小笠原諸島(自然)
8. 富士山—信仰の対象と芸術の源泉(文化)
9. 白川郷・五箇山の合掌造り集落(文化)
10. 古都京都の文化財(文化)
11. 古都奈良の文化財(文化)
12. 法隆寺地域の仏教建造物(文化)
13. 紀伊山地の霊場と参詣道(文化)
14. 姫路城(文化)
15. 厳島神社(文化)
16. 石見銀山とその文化的景観(文化)
17. 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業(文化)
18. 「神宮心願」 宗像・沖ノ島と関連遺産群(文化)
19. 屋久島(自然)
20. 琉球王国のグスク及び関連遺産群(文化)
21. 琉球王国のグスク及び関連遺産群(文化)

**Q4** 造られた当時の古墳ってどんな風だったの？

**A4** 今は緑豊かな森のようですが、築造当時、木は生えていませんでした。墳丘の斜面には石(葺石)が敷き詰められ、平坦なところには、多数の埴輪が並べられていました。古墳はにぎやかに飾られていました。



鏡塚古墳出土土師埴輪



栗塚古墳出土土師埴輪

**Q5** 古墳ってどこにどのくらいあるの？

**A5** 日本列島の本州から九州まで約16万基の古墳があります。皆さんの家の近くにも小さな古墳ならあるかもしれません。前方後円墳はそのうちの約4,700基です。北は岩手県、南は鹿児島県にまであります。中でも特に大型の前方後円墳が大分府の百舌鳥・古市古墳群に集中しています。百舌鳥と古市という2つのエリアには約90基の古墳が現存しています。

**Q6** 立ち入ることができる古墳ってあるの？

**A6** あります！百舌鳥・古市古墳群の構成資産候補では、藤井寺市にある津堂城山古墳、銅塚古墳、古室山古墳、大鳥塚古墳の墳丘に登ることができます。また、堺市にある履中天皇陵古墳の視定点や、羽曳野市にある向藤山古墳の見学路からも、間近に見学することができます。その他、周辺が公園として整備された古墳も多くあり、造られた当時の姿に思いを馳せることができます。